

国内の10事業者・団体が集結し
地域に眠る名品、それを支えるストーリーを今年も発掘します！

「2019年度 ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」

<https://furusatomeihin.jp/>

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」は、日本各地の素晴らしい名品やその背景にあるストーリー、地域を元気にする様々な取組やチャレンジを発掘し、地域の内外に発信することを目的とした表彰制度です。2015年度から始まり、今年度で5年目を迎える本事業は、地方創生に向けて志を同じくする民間企業の主体的な集まりである「ふるさと名品・オブ・ザ・イヤー実行委員会(実行委員長:古田秘馬、以下「実行委員会」)が運営しています。

今年度の「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」では、従来の「ヒト」、「モノ」、「コト」の3カテゴリーを「名品部門」、「交流コンテンツ部門」の2部門に再編し、それぞれの部門において5つの地方創生賞を選定するとともに、各部門の中から最も優れたものを地方創生担当大臣賞として表彰することとしています。公式WEBサイト(<https://furusatomeihin.jp/>)をご確認の上、積極的にご応募ください。

実行委員会は、地域の将来を支える名品の発掘や市場開拓、それらを実現する人材や取組に対する支援を目的として、本日発表した表彰制度に加え、地域商社協議会を開催するなど、参加する民間企業間での連携を図りながら地方創生に向けたサポートを今後とも展開していきます。



<実行委員会>

実行委員長： 古田 秘馬

幹事社(4社)： 株式会社ジューピターテレコム(J:COM)、株式会社JTB、株式会社テレビ東京コミュニケーションズ、株式会社ドゥ・ハウス

会員企業・団体(6社)：
株式会社ア・ファクトリー、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社クレセント、株式会社さとふる、エコツェリア協会、一般社団法人モテパパLAB

後援： 内閣府、農林水産省、経済産業省(申請中)

<ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 2019 募集要項>

募集期間： 2019年11月5日(火)～2020年1月10日(金)

応募方法： 公式WEBサイト(<https://furusatomeihin.jp/>)より、御応募ください

お問い合わせ先： furusatomeihin@jtb.com

【ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 2019 地方創生大賞、地方創生賞】

それぞれの名品や、名品をめぐる人材・取組が、どれだけ地方の変革に向けた機運を醸成し、その実現に成功したかという観点から選考・表彰する賞。「名品部門」「交流コンテンツ部門」の2つのカテゴリごとに地方創生賞を5つずつ選出し、それぞれのカテゴリの最高位を地方創生大賞とする。

応募条件： 本年12月頃までに、地域の特徴を生かした最近3年を目安に新たに販売・発表された名品を対象とします。ただし、販売・発表から数年経てもまだまだ認知のないコト・モノであれば受賞可能と判断する予定です。

選考フロー： 一次審査・二次審査・最終審査の三段階の審査を行います。

授賞内容： 「名品部門」「交流コンテンツ部門」の2つのカテゴリごとに地方創生大賞1点と地方創生賞4点を授賞

【受賞者の権利】

- ① 受賞名品は、販促機会に「受賞ロゴ」を使用できます。
- ② 各事業者の特徴を生かした販促機会が(ECサイト無料掲載など)提供されます。(予定)

<2019年度の実行委員会の取り組み>

- ① 表彰制度
「地方創生大賞」「地方創生賞」を設け、各事業者・自治体の商品や取組を支援してまいります。
- ② 地域商社協議会
内閣官房、農林水産省、経済産業省、ふるさと名品オブ・ザ・イヤーが共同で官民連携の定期セミナーを開催し、公式サポーターと自治体のマッチングの場として展開しています

<2018年度「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」受賞品>

【地方創生大賞・ヒト部門】

UDON HOUSE を立ち上げた地域の人々(香川県三豊市)



【地方創生大賞・モノ部門】

食彩 GARDEN 三浦やさい栽培キット(神奈川県三浦市)



【地方創生大賞・コト部門】

市川市×市川市国際交流協会(I.I.A.)「シェフ先生」プロジェクト(千葉県市川市)



【政策奨励大賞】

北海道美瑛高等学校におけるキャリア教育の実践(北海道美瑛町)



＜お問い合わせ先＞

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会事務局 (JTb内)

電話：03-6737-9392

EMAIL: furusatomeihin@jtb.com

時間：月～金9:30-17:30 (土日祝 休業)